

鉱区数から見た静岡県の鉱業

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2011-08-26 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 竹内, 正辰 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00005914

鉦区数から見た 静岡県 の 鉦業

竹内正辰

昭和28年4月に整理された「東京通商産業局管内鉦区一覧」を手に入れたので、鉦区数から静岡県の鉦業の大勢をうかがうことにした。この管内に所属する県は、関東地方の1都6県と中部地方東部の4県（新潟長野山梨静岡）とであるが、いずれも地質的に特徴があつて、新潟県の石油、茨城県の石炭、東京都千葉県のがス、栃木県の石灰岩などの特異な鉦業がそれぞれ発達している。我々が県内の地下資源を検討するとき、やゝともすると視野がせまくなつてついに我田引水におちいりやすくなるから、他の県と比べて我々の県の特性を知つておくことは大切なことである。

1. 鉦区数

鉦区の種類を採掘鉦区と試掘鉦区にわけ、更にこれらを金属と石炭・石油・亜炭・ガスとその他との3種類にわけて、表一表にまとめた。なおこの表には県内各郡別に分けた結果を参考のために付けておいた。

採掘鉦区の数についてみると、本県は才4位、試掘鉦区では才5位である。静岡県は金属鉦業を特徴とするから、金属鉦区だけで比較してみると、採掘鉦区では才3位、試掘鉦区では才5位である。もし砂鉦区を除いて比べれば、採掘鉦区では才2位にあがる。

2. 金属鉦区数の占める百分率

静岡県は他に比べて金属鉦区が多いことがわかつたが、各県の大勢を比べる時には、非金属鉦業をも考えなければならない。このために、各県の金属鉦区数が全鉦区数のどの程度を占めているかを百分率で比較してみた。これによると本県は採掘鉦区では才2位、試掘鉦区では才3位になる。栃木山梨などと共に金属鉦業が広く行われている県の一つで、その鉦区数は鉦区全数の80%以上になつている。云いかえると大部分の県のように非金属鉦業が広く発達し

(10)

てはいないということである。

3. 各県の鉱業

それぞれの県のこうした関係をはつきりさせるために、上に求めた百分率を利用して、採掘鉱区の方を横軸にせしめて試掘鉱区の方を縦軸にとつて、各県の相互の関係を図示するとオ一図になる。いま両軸の間に二等分線OMを引く。これは採掘鉱区中の金属鉱区の占める割合と、試掘鉱区中の金属鉱区の占める割合が等しい県の軌跡になる。東京、新潟、茨城、静岡、山梨は略々この線上にあつて互によく似た関係にある。次に両軸の50%の点を通り、各々の軸に平行な直線X、Yを引く。X線は試掘鉱区のうち金属と非金属鉱区数とが等しい県の軌跡であり、Y線は採掘鉱区の中での同意義の県の軌跡である。従つてオI象限は金属鉱区の優勢な範囲で、これに茨城、群馬、長野、静岡、山梨、栃木が属している。オII象限はオI象限と反対に非金属に主力をそそぐものの範囲で、これに東京、新潟、千葉が属している。オIV象限は、採掘鉱区は金属が主であるが、試掘は非金属が主なもので、神奈川がこれに属している。ここでは金属鉱床の露頭を探查しにくく天然ガスの探鉱に方針を切り換えたように見える。この象限と反対のオII象限にはいる県はないが長野、茨城はややその傾向があらわれている。この二県では石炭と天然ガスの試掘が盛である。

静岡県の天然ガス試掘鉱区の設定は数年前から盛になつたようではあるが、金属鉱の試掘鉱区の設定数にくらべて、その件数が少く、県の鉱業大勢を左右するまでには至つていない。ここに用いたオ一図からそのことがはつきり云える。

4. 鉱床の分布の広い県の判定

鉱業国とか鉱業県とか云うと、産出量をかなり考えなければならぬからこの言葉をつかわなかりで、小さい鉱床でも数多く採掘したり、試掘を益に希望したりする件数の多い県を、鉱床の分布の広い県と云うことにしよう。どの県がこういう県であるかを判定するための条件としては、

- イ. 採掘鉍区数が多いこと。
- ロ. 試掘鉍区数が多いこと。
- ハ. 採掘鉍区数に対する試掘鉍区数の比が大きいこと。

があげられる。

この関係をオ2図に示した。即ち横軸に採掘鉍区数、縦軸に試掘鉍区数、パラメーターにハの条件を取った。図の中で右上方に位置する県程「分布の広い県」である。

新潟県は「分布の広い県」の主座で、著しく群を抜いている。資源が他の県に比べて豊富であることを物語っている。長野県は採掘鉍区は多いとはいえないが、試掘熱は極めて盛んで、資源さえあれば鉍業の発展する県である。

栃木県は鉍区数は多い方であるが、試掘数は余り多い方ではない。それに比べて群馬県は、割合に試掘数は多い。この中間にあるものが静岡県で、これらの3県は、鉍業を盛大にさせたいが、惜しいかな資源に乏しいと云った椀子がうかがわれる。

茨城県は現状維持の感がする。目立って試掘がふるわない。

東京都、千葉県、山梨県、はよく似た地位にある。採掘鉍区も試掘鉍区も余り多くはない。資源の分布のよくない県である。

埼玉県、神奈川県は資源に最も乏しいために採掘鉍区数はこの管内で最も低位である。

5. むすび

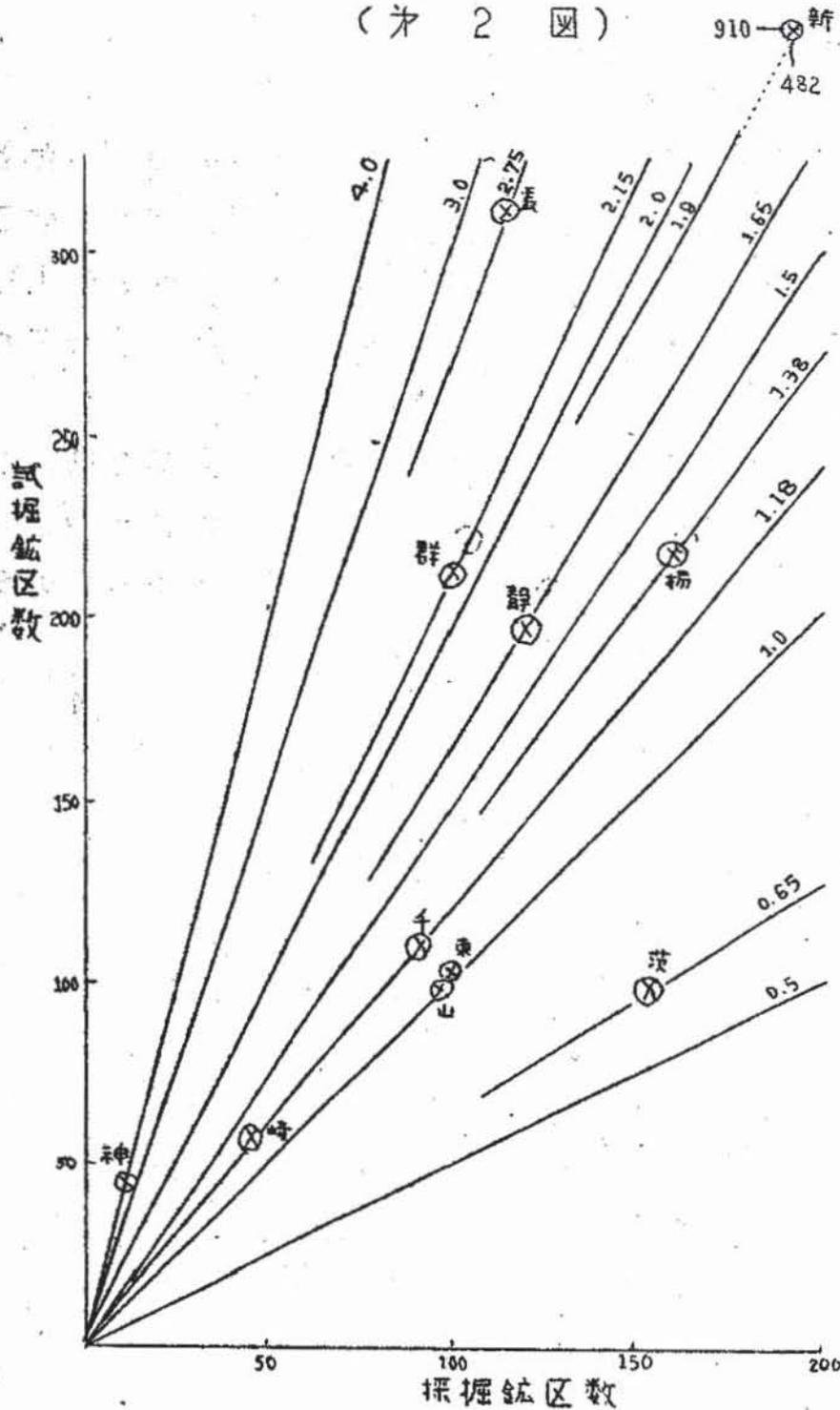
本県は次のような順位にある。

- イ. 採掘と試掘と合せた全鉍区数ではオ4位。
- ロ. 採掘鉍区ではオ4位。
- ハ. 試掘鉍区ではオ5位。
- ニ. 金属鉍だけの全鉍区数ではオ4位。
- ホ. 金属採掘鉍ではオ3位
(採掘鉍区全数に対する100分率ではオ2位)
- ヘ. 金属試掘鉍ではオ5位
(同上 オ3位)

	採掘鉱区						試掘鉱区					
	金 属		石炭 亜炭	石油 ガス	ソノ他	計	金 属		石炭 亜炭	石油 ガス	ソノ他	計
茨城	51.6%	80	47	65	10	115	59.8%	56	1	34	5	95
栃木	80.2	134	17	3	30	187	95.0	223		3	9	235
群馬	55.1	54	9	32	12	93	71.8	162		24	40	226
埼玉	71.8	28	17	1	10	39	80.4	49		9	3	61
千葉	42.5	34	34	46	0	80	2.5	3		114	0	117
東京	12.8	12	12	77	5	94	16.3	17	2	81	6	104
神奈川	68.3	13	11	4	2	19	26.3	11		31	0	42
新潟	27.1	131	66	344	7	482	20.1	183	1	721	6	910
長野	51.1	65	10	52	10	127	75.9	244		51	27	322
山梨	95.5	85	53	4	0	89	92.6	89		5	2	96
静岡	82.4	113	35	1	13	137	80.5	156		35	3	194
計		741	303	639	99	1,479		1,193	4	1,108	101	2,426
加茂		43	10		3	46		64			1	65
田方		23			1	24		44		2		46
宣士		2	2			2		1				1
庵原		7	7	2		9		2		2		4
安倍		19	14			19		7				7
志太		2	1	1		3		2		17		19
榛原		0		8		8		1		11		12
浜名		1			1	2		2				2
小笠		1				1		1		2		2
周智		1				1		1				1
磐田		14				14		25		1	1	27
引佐		0			8	8		6				7
駿東		1	1			1		1			1	1
計		113	35	11	13	137		156		35	3	194

[注] 金属ノ欄ノ右側数值ハ砂鉱、中央数值ハ砂鉱ヲ加エタ値ナル。

(第 2 図)



鉱業も振わせたいものである。枋木県と同じように金属鉱区が割合に多いとは記したが、彼の県では日本の石灰岩産出額の6%をしめる鉱山があり、東京都でも5%の石灰岩を出している。羨しい限りである。産出量を挙げたのでは到底比較にならない県だから、鉱区数だけで少しは意を強くして比較してみたわけである。